

# 第1章 計画の策定にあたって

本計画は、愛荘町が持つ豊富な地域資源を魅力ある観光資源へと進化させ、地域の活性化へとつなげていくことを念頭に置いて策定しました。

## 1 計画策定の背景

政府は「世界が訪れたい日本」を目指し、2016年3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定し、訪日外国人旅行者数を2020年には2015年の約2倍の4,000万人、2030年には約3倍の6,000万人とするなどの目標を掲げ取組を進めています。また、2017年3月には新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定され、観光は国の成長戦略の柱、地方創生への切り札であるとの認識の下、「観光先進国・日本」への飛躍を図るとしています。

一方、わが国の観光を取り巻く環境の変化は著しく、高速道路網の進展による移動時間の短縮、インターネット・SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の普及による環境変化等に伴い、旅行ニーズの多様化や観光スタイルの変化が生じ、地域間競争も激化しています。

今後、定住人口の減少と高齢化が深刻となっていくなか、地域経済、交通、文化、コミュニティの維持・発展のためには交流人口の増加は不可欠であり、観光消費額を増加させ、地域経済を活性化するための更なる取組が求められます。

観光は地域振興や雇用の創出だけでなく地域住民の愛着や誇りの醸成など、幅広い分野に波及して経済活性化に寄与することから、わが国にとって重要な成長分野として位置付けられています。

## 2 計画策定の目的

愛荘町が観光による地域の活性化を行う理由は大きく3点あります。

### 【1】地域経済の活性化

観光振興により交流人口を増加させることによって、地域の稼ぐ力の成長を促し地域経済を活性化させる。

### 【2】観光まちづくりの機運醸成

住民が愛荘町の地域資源の魅力を再認識し、愛着と誇りを醸成することで、観光まちづくりの機運を高めるとともに、地域コミュニティの希薄化を解消する。

### 【3】移住・定住の促進

観光振興により交流人口を増加させ、来訪者および地域住民等に町の魅力を伝えることで、移住・定住へつなげていく。

このような将来の実現に向けては、住民・観光に関わる企業や団体・行政が愛荘町の目指す観光について同じ方向を向いて、連携を深めながら観光を盛り上げる必要があります。

### 3 計画の位置付け

本計画は、「第2次愛荘町総合計画」(2018年度～2027年度)と「滋賀県「観光交流」振興指針～「健康しが」ツーリズムビジョン2022～」(2019年度～2022年度)と整合を図りつつ策定します。

### 4 計画の実施期間

本計画の実施期間は、令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)までの5年間とします。

この実施期間内には、令和3年度(2021年度)には東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスタースゲームズ関西、令和6年度(2024年度)には滋賀国スポ・障スポといったビッグイベントが開催されます。

このビッグイベントによる人の流れを愛荘町にも取り込むための観光施策の実現を図りたいと考えています。